

2014年7月1日開催 第590回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、
小菅洋人委員、佐藤卓己委員、中野健二郎委員、東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
浦川東京制作室長、中野プロデューサー

◆ 審議事項

1) 委員交代

6月例会で退任した若菜英晴委員の後任として、毎日新聞社大阪本社編集局長の小菅洋人氏が委員に就任した。

2) 全国ネットテレビ番組「世界の日本人妻は見た！」(2014年5月27日(火) 19:00~20:54放送)について意見交換した。

3) その他(民間放送連盟放送基準の改定について)

【各委員の主な意見は次の通り】

- *ガイドブックにはあまり載っていないことを知りたいというニーズに合っている番組。
- *「日本人妻」という言葉がタイトルにあり、何となく違和感がある。
スタジオが何のためにあるのかがあまりわからない、爆笑問題も力のある人たちだが、ほとんど仕事をしていないと感じた。
- *この番組のオリジナリティーは、生活レベルでのガイドであること。数ある海外モノの番組の中ではとても興味をそそられる目線の映像だが、やはり気になるのはスタジオ部分。「編集で落とさざるを得なかったネタ」とか「VTRでもっと詳しく紹介したかったネタ」もスタジオの時間を使えば、消化できる。
- *ある家族のものとして言うのはいいけど、それを国民性にまで広げてしまうと、異文化コミュニケーション的には間違ったメッセージになる。
- *生活に即したその国の文化、風習を知る上で非常にいい番組だ。
- *全体的にはもうひとひねりというか、手間ひまをもうちょっとかけてほしかったという印象。ゲストのトークも生きていなかった。
- *まじめにつくっているし、まじめに相手も答えている。もっと突っ込んで、苦労話みたいなのも聞きたいところだけど、そこがなかなか出てこない。
- *番組全体から非常に自由でのびのびした印象をすごく受けた、それは大事にしたい。
いただきたい。

以上